

活動報告会 参加者のみなさんの声

福岡市在住、10代(高校生)、女性

本日お話を聞いて、日本はやっぱり恵まれているなと感じ、きれいな水があることも病院があることもあり前ではなくて、すごく感謝しないといけないことだと改めて思いました。川原さんが言われていたように、0から1にすることはすごく大変なことだと思うけど、私も将来誰かのために役に立てるような人になりたいと思いました。そして、誰にでも愛情を持って関わっていこうと心から思いました。本日はありがとうございました。

福岡市在住、10代(高校生)、女性

今日は本当にありがとうございました。初めてロシナンテスの話を聞き、世界にはこんな風に命が危ない人々がいるんだ実感することができ、自分自身もそのような人々の力になれる人になりました。またモニターにジェンダー平等の話が書いてあり、元々そのボランティアには参加することがあったので、そのような面でも貢献していきたいと思いました。今日は本当にありがとうございました。

北九州市在住、10代、男性

小学5年の時、道徳の授業の中で、川原先生の事を知りました。僕は先生を知るまで「世界一の医者になる」とことが夢でした。先生を知って自分をかえりみず、目の前で苦しむ人には決して目をそらさず、その人のために一生懸命になれる医者になる事が夢になりました。それから、僕は自分がかえりみることなく、自分を犠牲にし、周りの人を助け、そして全てに全力を尽くすようになりました。しかし、小6の時に腎臓に病を患い、想うようにいかず、高校も中退。それから、精神も病んでしまい、不安障害、強迫性障害になり、何をやるにしても不安が先にきてしまい、体がガタガタ震えてしまいます。しかし、

今日先生の話をきいて、先生の話の底にある搖るぎない信念を感じました。自分がどうなりたいか忘れてはいることに気づきました。失敗とは何かを知りました。

これから頑張ろうという内容をこの紙に書いているだけで、今も足がふるえて文字がまともに書けません。それでも1つ決めました。僕はやっぱり先生みたいになりたいです。今日はすばらしい話をありがとうございました。

熊本市在住、30代、女性

実際に川原先生のお話を聞くことができ、とにかくすごいと思いました。私も将来スーダンで何かお手伝いができるよう研鑽していかなくてはと思いました。

東京都在住、30代、男性

講演会大変興味深く拝聴しました。ロシナンテスモデル、医一水一教育一地域住民・政府の協力、ともに考えさせられました。自分はJICAでイラン、イラクの支援を行なっていますが、改めて今後の支援の進め方について、よく考えていかなければいけないと、とても心地よい、刺激と啓発を受けました。ありがとうございました。

福岡市在住、30代、女性

本日は貴重なお時間を割いてくださりありがとうございました。「無東西」とても素晴らしい理念だと考えます。この考え方を教育に携わる一人の者として、少しでも生徒へ伝え広げていけるよう、実践し努力をしていきたいと強く思いました。

「自己の利益の追究」ばかりが見えてしまう現代において、ロシナンテスの方々の活躍は本当に貴重で応援させていただきたいです。今後の更なるご活躍を心よりお祈り致します。

熊本市在住、40代、女性

単なる医療だけでなく、継続可能な活動



全国各地からこの報告会のために、たくさんの方が足を運んでくださいました

参加者の方からの貴重なご意見を元に今後の活動に反映させていきます

子どもから大人まで、幅広くご参加いただきました

帰国した川原による、活動現場の報告

「活動報告会2017春@東京」

2017年5月27日(土)

会場／滝野川会館大ホール
(東京都北区西ヶ原1-23-3)

開場／18:30
開演／19:00
終演／20:30



**2017年5月
北九州・東京で
主催イベント
開催!
参加費無料!!**

お申し込みはロシナンテスホームページ、または日本事務局(TEL:093-521-6470)までご連絡下さい

「活動報告会2017春@北九州」

2017年5月21日(日)

会場／北九州市立商工貿易会館2階
多目的ホール
(北九州市小倉北区古船町1-35)

開場／16:30
開演／17:00
終演／18:30



活動報告会

2016秋・2017冬



活動報告会2016秋

まずは、理事長川原尚行の地元でありロシナンテスの拠点でもある福岡・北九州の皆さんに向けて、2016年11月26日(土)に北九州市立商工貿易会館多目的ホールにて「活動報告会2016秋」を開催いたしました。

当日は、「第一部 私が見た熊本地震災害支援活動とロシナンテス」「第二部 ロシナンテスのこれまで」とこれから、「第三部 スーダンとの生中継」と題し、皆さまに充実したご報告ができるよう、三本立てで開催いたしました。

第一部では、平成28年熊本地震におけるロシナンテスの活動と現在の被災地の状況をご報告いたしました。演者を務めたインターナンスの大庭亜美は、熊本地震発災後、熊本に1ヶ月間住み込んで支援活動を行いました。また、ロシナンテスの熊本支援も主体となつてプロジェクトを動かしています。東日本大震災の復興にも携わっている彼女の経験と熱い想いをお伝え

2017年2月18日(土)、北九州市立商工貿易会館多目的ホールにて、ロシナンテスとして2回目の開催となる「活動報告会2017冬」を行いました。

活動報告会2017冬

第三部では、そのときスーダンに滞在していた理事長川原と、北九州市の会場をビデオ通話で繋ぎ、現地から活動の最新状況をお伝えしました。

川原と一緒に、スーダンで暮らすゼインくんも画面に登場し、将来的な夢を語ってくれました。彼は以前、ロシナンテスのサポートで九州国際大学付属高校に留学しており、現在はスーダンの大学に通っています。すっかり大人になった彼の姿に、会場の皆さんもとても感銘を受けました。また、会場の皆さんもとても感銘を受けました。

前、ロシナンテスのサポートで九州に会場の皆さんもとても感銘を受けました。また、会場の皆さんもとても感銘を受けました。

そこで、当団体の活動を皆さまにしっかりと報告させていただきたくために、活動報告会を実施する

お伝えする機会を十分につくれませんでした。



インター生による、熊本地震災害支援の活動報告

スーダンにいる川原もビデオ通話で報告会へ参加



グッズ販売コーナーにてこれまでの書籍が勢揃い!

ロシナンテスは、発足してから今年で12年目を迎えました。日本から遠く離れたアフリカ・スーダンの地で「医」を届ける活動が継続できているのは、設立当初よりロシナンテスを支援いただいている皆さまのおかげです。しかし、これまでロシナンテスの活動の成果や感謝の気持ちを皆さまに直接お伝えする機会を十分につくれませんでした。

そこで、当団体の活動を皆さまにしっかりと報告させていただきたくために、活動報告会を実施する

お伝えする機会を十分につくれませんでした。



給水車にタンクを持って並ぶ避難者



本震発災直後の熊本市役所



避難所として開放された体育館。運営は地元の大学生

熊本地震復興支援活動を通じて感じたこと

ロシナンテスで熊本地震に対する復興支援活動を担当しております。インターの大庭です。私は大学に入つてから東日本大震災の復興支援活動に携わり、「誰かが困っている時に、力になりたい」という想いを持って活動を続けてきました。